

平成30年度第2回行政改革推進委員会概要報告

柏崎市総合企画部人事課

1 開催日時

平成30年8月30日（木）午後3時から4時30分まで

2 場所

柏崎市役所本館4階大会議室

3 出席者（14人）

○行政改革推進委員（五十音順）

石坂委員長、川瀬委員、品田委員、高橋委員、土田委員、中村委員、中山委員及び村田委員
（欠席：小林委員及び西巻委員）

○事務局

柴野総合企画部長、飛田人事課長、宮川人事課長代理、平田人材厚生係長、星野業務改善係長及び五十嵐主任

4 概要

今年度に市長自らが事務事業評価を実施した849事業のうち、市長が選定した事業を事務局で分野別に17のグループにまとめ、外部評価の対象となる4グループ及び予備として2グループの計6グループを選定した。

なお、9月20日及び9月25日に開催する外部評価会議において、選定した事業の外部評価を実施する。

外部評価対象事業

- ・グループNo.6 高柳町（高柳町事務所）
- ・グループNo.2 シティセールス（元気発信課）
- ・グループNo.7 西山町（西山町事務所）
- ・グループNo.14 景観形成（都市政策課）
- * 予備
- ・グループNo.9 高齢者支援（介護高齢課）
- ・グループNo.15 都市公園（都市政策・維持管理課）

主な選定理由等

○グループNo.6 高柳町（高柳町事務所）

- ・市町村合併に伴う課題を含んでいると感じる。今後地域振興も議論が必要と考える。
- ・廃止・一部見直し事業が多いことや高齢化、人口減少による見直しが必要と感じる。
- ・6次産業に係る施設があることを知らなかったが、内容を確認したい。

○グループNo.2 シティセールス（元気発信課）

- ・少子高齢化の中で必要な方策と考えるが、外部専門家から柏崎の魅力の発信ができないか考えた。
- ・少子高齢化が進む中で定住人口増加対策は重要。その中でこの事業の位置付けを確認したい。
- ・現状の指標、手法の妥当性を見直す必要があると考えるため。
- ・市町村間競争の中、市の歴史伝統を踏まえ最重要と考えた。

○グループNo.7 西山町（西山町事務所）

- ・合併から13年経過し、廃止と一部見直しの実態を知りたい。
- ・海水浴場等施設管理費について検討したい。
- ・廃止・一部見直し事業が多いことや高齢化、人口減少による見直しが必要と感じる。

○グループNo.14 景観形成（都市政策課）

- ・事業内容が見えてこないため。
- ・街の魅力として景観は重要。どのような景観形成を目指すのかを確認したい。
- ・市長の峻別結果が廃止だったため、確認したい。

5 委員会の要旨

(1) 開会 総合企画部長挨拶

(2) 議事

ア 事業峻別の実施状況について（中間報告）

〈業務改善係長から説明〉

質疑応答なし

イ 行政評価（外部評価）の実施手順について

〈業務改善係長から実施手順を説明〉

質疑応答なし

ウ 行政評価（外部評価）の事業選定について

〈業務改善係長から実施手順を説明〉

委員：評価対象グループの希望を提出するときに第1希望から第6希望を出したものが優先され、同数の時に点数が高いものが優先されるという考え方でよいか。

事務局：選定の基準は、希望する人数が多いグループが優先される。同数の場合は点数が高い方が上位となる。

委員：資料5で評価対象グループの希望を提出するに際してグループによって事務事業数が異なるのは、多いものを選ばなければならないのかという気持ちになる。

事務局：事務局として、決して誘導していることはない。委員の皆様が評価したいグループ・事務事業を挙げていただきたい。

委員：他の委員と同様で、高柳町グループは事務事業数が多いので、評価しなければならないように思われる。

事務局：高柳町グループは、事務事業数も多く目が行きがちであるが、事務事業数が多い少ないにかかわらず、まずは委員の皆さんが評価したいグループを選んでいただきたい。

委員：事務事業数が多いグループも説明時間は5分で説明を受けるのか。

事務局：仮に選ばれた場合は、委員の同意を得て、例えば、説明時間の延長も検討したい。

委員：評価は1事業ごとか。それともグループ全体か。

事務局：市長の方針としては関連性のあるグループ単位で意見を聞きたいという意向だが、そうすると総論的になってしまうこともあるので、同グループ内でも特にこの事業については確認したいというものがあればお示しいただき、市長・担当課にお伝えしたい。

委員：高柳町は細かい事務事業が多いが、予算化されている事業を関連性のある事業単位に再度、まとめる必要があるのではないか。

事務局：高柳・西山は、複数の事業を挙げているが、市役所の財政上の歳出区分で細かい事務事業単位で挙げている。委員長提案を踏まえ、関連性のある事業は再度、グルー

プ化するなど、選定された際は説明の仕方について考えていくこととしたい。

委員：合併から数年経過したが、高柳町・西山町と合併する際に、この取組は継続するなどの取り決めをしていたのではないかと。

事務局：市町合併は平成17年5月であり、13年が経過した。今や、人口は右肩下がりの一方で、高齢化は右肩上がりである。西山・高柳はその傾向が顕著である。また、公共施設が多くあり、財政上、今後の維持管理は大きな課題となっている。市長としても、施設を統廃合することにより、複数の団体が1つの施設に集約されることにより、住民の利便性が高まるのではないかと考えている。現状から判断すると、整理するタイミングになっているのではないかと。

事務局：今日出た意見が来年度すぐに予算に反映されるわけではない。2～3年、あるいは5年・10年後の視点も踏まえ、意見をお願いしたい。

委員：昨年までは1事業ごとに廃止か継続か結果を出していたが、今回はグループ単位での評価とすると結果はどのような形になるのか。

事務局：今年度は、グループ単位で方向性を出してほしいが、その中でグループとしては廃止だが、事業によっては個別に継続等の意見があるのであれば、コメント欄に示してほしい。

委員：グループ分けが全て部単位に記載されているが、他グループに関連する事業もある。複数グループ間での評価も必要ではないか。

事務局：昨年度と違って市長が事業峻別を行った結果を一覧表にまとめたものであり、委員の考えはあると思われるが、今年度はグループごとに御意見をいただきたい。

委員：昨年度までは事業単独で行っていたものが今回は関連性のあるものに分けられている。ある意味で一步前進の部分もあると思う。一方で、西山町、高柳町という区分けについては、慎重に考える必要があると思われる。

事務局：委員の意見については、来年度の検討課題としたい。

委員：夢の森公園と県立こども事前王国は管理を一緒にする等関連するのに、これを分けて評価するのか。片方だけ審議対象とするのはいかがなものか。

事務局：別グループとした理由として、それぞれ施設は別の団体が指定管理者となっているためである。それぞれの団体が自由な発想の下、魅力的な取組をしており、融合することによって、更に子どもたちをもっと楽しませることができるといふ相乗効果が図られると思われる。また、夢の森公園は、指定管理の期間が5年のうち、数年経過している現状にあり、来年度からの取組ではなく、今後の方向性を示すことになると思われる。

委員：委員が関与しているものでも選択できると説明があつたが、自己申告が必要か。

事務局：委員が関与している事業であっても、客観的な発言内容となっていれば、希望を妨げるものではないという意味である。

—外部評価対象グループ等希望調書の記入及び集計のため、16：20まで休憩—

事務局：選定グループは、配布資料のとおりであるが、本日の議論を踏まえ、改めて委員の考えを確認したい。この度、高柳町グループと西山町グループが選定されたが、事業数がともに多いことから、両グループを9月20日と25日に分けて、それぞれに上位順位の2グループを加え、計4グループを外部評価にしたいがどうか。

全委員：異議なし。

◎ 委員から9月20日と25日の外部評価会議への出席の都合と関与しているグループや事業について確認、調整し、次のとおり外部評価日程を決定した。

日 程	9月20日(木)	9月25日(火)
グループ名 (予備)	西山町	高柳町
	シティセールス	景観形成
	都市公園	高齢者支援
評価委員名	石坂委員 川瀬委員 小林委員 高橋委員 土田委員 中村委員 西巻委員	石坂委員 川瀬委員 品田委員 中村委員 中山委員 西巻委員 村田委員

(3) その他

外部評価会議の正式な通知については、後日、行う。

4 閉会